

令和2年度
群馬県図書館協会会報

No. 15 (令3.3.31)

令和2年度の群馬県図書館協会の活動を御報告いたします。

- 1 第1回代議員会報告 P1
- 2 第18回群馬県図書館大会報告 P2～3
- 3 研修報告
 - (1) 図書館(室)職員初級研修 P4
 - (2) 図書館(室)職員実務研修 P5
 - (3) 図書館(室)職員専門研修 P6
- 4 各加盟団体活動報告
 - (1) 群馬県公共図書館協議会 P7～8
 - (2) 群馬県大学図書館協議会 P9
 - (3) 群馬県高等学校教育研究会図書館部会 P10～11
 - (4) 群馬県小中学校教育研究会学校図書館部会 . . . P12～13

※当初予定されていた公共図書館協議会研究部会(2部会)研修については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

発行：群馬県図書館協会(事務局：群馬県立図書館内)
加盟団体 { 群馬県公共図書館協議会
群馬県大学図書館協議会
群馬県高等学校教育研究会図書館部会
群馬県小中学校教育研究会学校図書館部会
群馬県立図書館 }

第 1 回代議員会報告

例年、対面式の開催としてきた代議員会だったが、新型コロナウイルス感染対策防止の観点から、代議員・監事の皆様の同意をいただき、書面開催で実施した。

以下の議題に関する資料により、ご審議・ご確認をいただき、令和 2 年 6 月 3 0 日に、承認をいただいた。

【議題】

1 群馬県図書館協会関係

(1) 令和元年度群馬県図書館協会事業報告について

(2) 令和元年度群馬県図書館協会決算について

令和元年度群馬県図書館協会会計監査報告について

(3) 令和 2 年度群馬県図書館協会事業計画（案）について

第 1 8 回群馬県図書館大会について

(4) 令和 2 年度群馬県図書館協会予算（案）について

(5) 監事の指名について

みどり市笠懸図書館 石内 聡 氏

(6) 会則の改正について

今般のコロナウィルス感染の状況を踏まえ、会議等の開催が困難な場合、書面等により実施できる規定を追加した。

(7) 運営委員会規約の改正について

県の組織改正により副館長職が廃止となったため、第 3 条第 1 項第 1 号の規定を「委員長は、群馬県立図書館次長をもって充てる。」と改正した。

2 群馬県読書推進運動協議会関係

(1) 令和元年度群馬県読書推進運動協議会事業報告について

(2) 令和元年度群馬県読書推進運動協議会決算報告について

令和元年度会計監査報告について

(3) 令和 2 年度群馬県読書推進運動協議会事業計画(案)について

(4) 令和 2 年度群馬県読書推進運動協議会予算(案)について

3 連絡事項

令和 4 年度全国図書館大会群馬大会の開催について周知を図った。

第18回 群馬県図書館大会報告

新時代の図書館～今だから、図書館としてできること～

日時：令和2年11月26日（木）10時～16時30分

場所：前橋市総合福祉会館

日程：

1 式典（10：00～10：30）（多目的ホール）

- (1) 主催者挨拶 群馬県図書館協会長 稲葉 友昭（群馬県立図書館長）
- (2) 来賓祝辞 群馬県教育委員会教育長 笠原 寛
群馬県議会議長 萩原 渉

(3) 後援・加盟団体紹介〔略〕

(4) 表彰式

- ①優良図書館群馬県教育委員会表彰
甘楽町図書館
- ②群馬県読み聞かせボランティア顕彰
桂萱読み聞かせの会「はぐはぐ」（前橋市）
堤ヶ岡公民館図書ボランティア（高崎市）
さくらの会（藤岡市）
下仁田読み聞かせの会（下仁田町）
太田市立宝泉東小学校読み聞かせボランティア（太田市）
- ③第53回全国優良読書グループ表彰伝達
川内読書会（桐生市）



2 記念講演（10：30～12：00）（多目的ホール 参加者147名）

演題：心地よい日本語、これからの日本語

講師：金田一 秀穂 氏（言語学者・山梨県立図書館長）

記念講演では、金田一氏から図書館長、言語学者としてそれぞれの立場から図書館や教育、自分で考えることの大切さなどについてお話しいただいた。参加者アンケートでは「ユーモアを交えながらも物事の本質をつくお話で、ハッとさせられました」「大変面白いお話でした」「これからの図書館の一視座が見えたような気がします」などの感想が寄せられ好評であった。



3 テーマ別分科会（13：30～16：30）

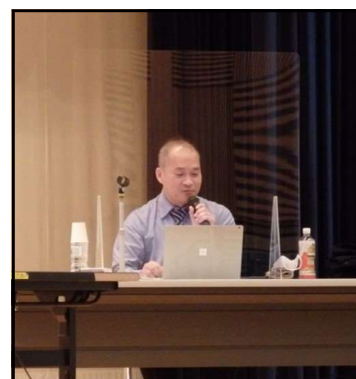
（1）第1分科会（多目的ホール 参加者62名）

テーマ：コロナ禍における図書館運営

講師：神谷 亘 氏（群馬大学大学院医学系研究科生体防御学分野教授）

小佐野 みはる 氏（山梨県富士吉田市立図書館）

第1分科会は、コロナウイルス研究の最前線で活躍されている神谷氏と、ユニークな企画の数々を実践する富士吉田市立図書館から小佐野氏を招きコロナ禍における図書館運営について講義していただいた。参加者からは、「コロナウイルスについて研究されている先生の研究者としてのお話が聞けて興味深かったです」「富士吉田市立図書館のお話は、図書館のイメージを一変させてくれました」などの感想が寄せられた。



（2）第2分科会（第一・第二会議室 参加者36名）

テーマ：子どもたちの情報活用能力を育む学校図書館を目指して

講演：チャレンジ！手がかりは写真だけの調査活動～情報センターとしての学校図書館の可能性～

講師：宮澤 優子 氏（長野県下伊那郡高森町立高森北小学校：学校司書）

第2分科会では長野県高森町立高森北小学校学校司書の宮澤氏から、生徒の情報活用能力の育成、教材研究や公共図書館との連携などについて講義していただいた。また、当日はオンラインミーティングサービス「Zoom」を使い、講師の映像を会場スクリーンに映写し遠隔で講義を行った。参加者からは、「濃い内容で大変勉強になりました」「探究活動や、図書館の活用の仕方について、すぐ実行したいことがたくさんありました」「宮澤先生の発想力、行動力に大変刺激を受けました」「自校だけでなく、大きな枠組みで考え実践していきたいです」「宮澤先生のファンになりました」などの感想が寄せられた。



図書館（室）職員初級研修「はじめての一步」

図書館（室）に異動、採用になった職員（正規・非常勤を問わず）を対象に、図書館の基本について研修を行った。内容は「図書館の機能と役割、図書館員の業務と心構え」「窓口サービスはじめての一步」「資料の収集と整理はじめての一步」「図書館ネットワークはじめての一步」であった。

新型コロナウイルス感染症への対策のため、4月開催を7月に繰り下げて開催した。理論的な内容の研修もあったが、アンケートでは実践的な研修を望む声が多かった。参加者アンケート（60人回収）での講座の全平均点数は100点満点中89.0点であった。

大学図書館及び学校図書館関係者が4割弱、それ以外が公共図書館職員の参加であった。公共図書館、大学図書館、学校図書館で設置目的や状況が異なるため、今後の研修について館種毎に分ける検討も必要と思われる。

実施日：令和2年7月30日（木）

参加者：59名



参加者の声の一部

- 図書館の基本について学べて勉強になりました。質疑応答を聞いて参考になりました。
- 講師の方が実例をまじえてお話してくださったので分かりやすかったです。
- 協力レファレンスでは、県立図書館に手伝っていただけることを知ることができてとても心強かったです。
- 県立図書館をはじめ県内の図書館と相互貸借ができることを知り、今後活用していきたいと思いました。
- 「窓口サービスはじめての一步」では、実体験に基づいた話で、大変参考になりました。
- レファレンスの仕方など、もう少し掘り下げてお話を聞きたかった。
- 資料の収集・整理についての講義が参考になりました。
- 迷っていたことなどに助言をいただけて大変助かりました。また、郷土資料サービスなど、図書館のサービスを形作るための様々な情報を知ることができてとても勉強になりました。

図書館（室）職員実務研修

配信日時：令和3年2月5日（金）～令和3年2月26日（金）（研修①および研修②）

令和3年3月23日（火）～令和3年4月30日（金）（研修③）

研修方法：動画配信（群馬県公式 youtube チャンネル tsulunus による限定配信）

参加者：63名（①41名、②47名、③34名）※参加者は申込み者の実人数

研修：①「感染症対策について～手洗い、嘔吐物処理の手順～」

島田 諒氏（群馬県衛生環境研究所 感染制御センター）

②「国立国会図書館デジタルコレクションとデジタル化資料送信サービスについて」

青木 太一氏（国立国会図書館 図書館資料整備課 雑誌保管係）

③「学校図書館と図書館」

中沢 孝之氏（白河市立図書館 主幹兼副館長）

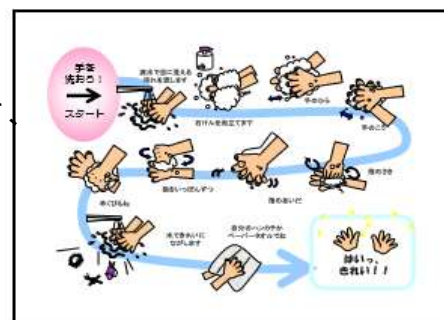
《概要》

研修①「感染症対策について～手洗い、嘔吐物処理の手順～」

講師：島田 諒氏（群馬県衛生環境研究所 感染制御センター）

コロナウイルスに限らず、基本的な感染症についての対策について、スライドを用いてわかりやすく説明いただいた。

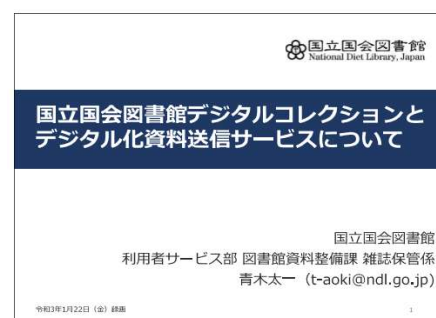
コロナ禍における日々の図書館運営や、日常生活の感染症対策に役立つ内容となった。



研修②「国立国会図書館デジタルコレクションとデジタル化資料送信サービスについて」

講師：青木 太一氏（国立国会図書館 図書館資料整備課）

国立国会図書館デジタルコレクションの概要や操作方法について、スライドを用いて、実際の操作画面なども表示しながらわかりやすく説明いただいた。日頃からデジタルコレクションを活用している職員や、デジタル化資料送信サービス参加館の職員には改めて操作方法を確認する機会に、それ以外の館の参加者には様々な機能を知る機会となった。

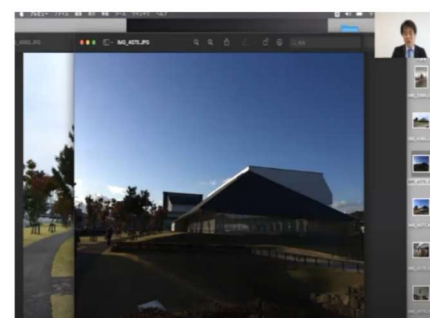


研修③「学校図書館と図書館」

講師：中沢 孝之氏（白河市立図書館 主幹兼副館長）

福島県白河市立図書館と市内の学校図書館について、写真をたくさん表示しながら、わかりやすくお話しいただいた。

市立図書館や市内小中学校23校、高校3校の取り組みや現状、課題など、他県の市立図書館の取り組みを知ることができるよい機会となった。



大学図書館研究会・群馬県図書館協会専門研修

(群馬県大学図書館協議会・群馬県図書館協会 共催)

○令和2年度第1回

日 時：令和3年3月9日（火）14時00分～16時00分

場 所：Web 会議ツール（Zoom）によるオンライン

参加者：30名（大学図書館12名、公立図書館4名、学校図書館4名、一般10名）

講 演：「歴史と伝奇 ふたつのジャンルを書く」作家 武内涼氏

概要

高崎在住の小説家、武内涼氏を講師にお迎えし、Web 会議ツール（Zoom）によるオンライン講演会を行った。映画監督を目指し制作会社で働いた経験から、現地取材を徹底する姿勢が小説づくりに活かされていることや、デビュー作『忍びの森』誕生のエピソードが語られた後、史実に忠実な「歴史小説」とファンタジー性に富む「伝奇小説」を創作する際の違い、物語にリアルさを持たせる工夫、それぞれのジャンルを書く面白さ、キャラクターのイメージの作り方などが紹介された。最後に、事前に参加者から寄せられた「特に思い出のある登場人物は？」「純粋に読書を楽しむために最近読んだ本は？」などの質問にも丁寧に回答いただき、創作活動の裏側を知る貴重な機会となった。



(配信会場 群馬大学)



(講師 武内涼氏)

参加者の意見等

- 作品が生まれるまでのご苦労や、楽しさを伺い、改めて作家の方への尊敬の念が強くなった。図書館に勤務しており、図書館の蔵書1冊1冊に、作家の方、本に携わる方々のそういった思いが込められているのだと思うと、感慨深い。
- 歴史小説と伝奇小説の違いを意識したことがなかったので、説明を聞かせていただくととても勉強になった。
- 先生のお人柄と語り口に引き込まれ、あっという間の2時間だった。
- 武内先生の執筆の仕方、執筆に入るまでの準備など作家の裏側について知ることができて楽しく聞かせていただいた。
- オンラインでの講演会は初めて参加したが、会場までの移動が不要で時間が有効活用できると感じた。また講師への質問など画面で見られたのが大変わかりやすかった。
- どこかへ集まる形よりも参加のハードルは低いように感じた。
など、初めてのオンライン開催となったが、概ね好意的な意見が寄せられ、大変有意義な研修となった。

新任図書館長研修（群馬県公共図書館協議会主催事業）

日 時：令和2年7月3日（金） 13時30分～15時15分

場 所：群馬県立図書館 3階 ホール

参加者：16人

日 程

1 主催者挨拶 群馬県公共図書館協議会長 石崎 治（館林市立図書館長）

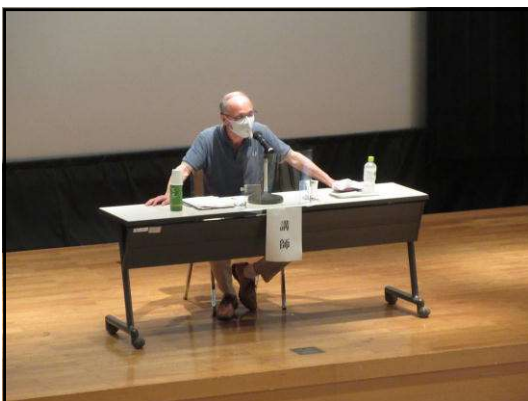
2 講義：図書館のミッション

講師：糸賀 雅児 氏（慶應義塾大学名誉教授）

《概要》

新任図書館長を対象に、公共図書館の管理・運営についての基本的な知識や、多様化するニーズに対応するための能力を養い、その資質向上を図ることを目的とし研修会を実施した。慶應義塾大学名誉教授の糸賀氏を招き、プライバシー保護と経営評価の観点から図書館のミッションについて講義していただいた。

参加者アンケートでは「図書館運営の取り組みについてヒントをたくさんいただきました」「業務改善に大変参考になりました」「今まで聞いたことのない分野の話だったので参考になりました」などの感想が寄せられ好評であった。



電子書籍貸出サービス見学会

日 時：令和3年3月12日 14:00～15:30

場 所：藤岡市立図書館

参加者：12市町村 13館 16名（前橋市・高崎市・太田市・館林市各2名）

見学会（説明）：「電子書籍貸出サービスの貸出・返却・予約業務・機能」

澁田 真由美 氏（藤岡市立図書館 館長補佐兼図書係長）

《概要》

藤岡市立図書館が導入している「藤岡市電子図書館」について実際の手順を踏まえながら説明があり、貸出・返却や予約といった簡単な操作から、文字の読み上げ機能、オーディオブック機能といった電子図書館ならではの操作の説明があった。

また、導入するまでの流れ、導入後の手ごたえ等事務的な動きの説明もあり、実際に導入を予定・検討している参加者に役立つ説明会だった。



《参加者の意見等》

「管理部や契約・導入部分について興味深く拝聴しました。」

「ギガスクールのために電子図書館の活用を考えていらっしゃるとのこと感服です。」



群馬県大学図書館協議会 令和2年度活動報告

I. 事業

1. 「会員名簿 2020」の配付
会員名簿を改訂し配付した。※加盟館 20 大学（25 館）会員数 129 名。
2. 会報「からっかぜ通信」第 44 号、45 号の発行
第 44 号（10 月）、第 45 号（3 月）を発行し、協議会HPに掲載した。
3. 大学図書研究会の開催
第 1 回 令和 3 年 3 月 9 日 14 時 00 分～16 時 00 分（会場：オンライン）
「歴史と伝奇 ふたつのジャンルを書く」をテーマに、高崎市在住の作家 武内涼氏による講演をオンライン（Zoom）にて実施し、30 名の参加を得た。
4. 第 18 回群馬県図書館大会の共催 令和 2 年 11 月 26 日 会場：前橋市総合福祉会館
分科会検討委員として加盟館員 2 名が参加した。
5. 「相互協力便覧 2020」の配付
本協議会のホームページに掲載し、必要に応じてダウンロードできるようにした。

II. 会議

1. 「会報」編集委員会 令和 2 年 7 月 28 日 15 時 00 分～16 時 10 分 会場：オンライン（Zoom）
第 44 号、第 45 号の発行に向けて、記事内容について検討を行った。
2. 幹事館会議
第 1 回 令和 2 年 5 月 22 日～6 月 5 日（メール会議）
令和 2 年度会費徴収と令和 2 年度予算修正案について審議した。
第 2 回 令和 3 年 2 月 26 日～3 月 5 日（メール会議）
令和 2 年度の活動及び決算について報告するとともに、令和 3 年度の事業計画及び予算案について審議した。
3. 運営委員会 令和 2 年 7 月 9 日 10 時 00 分～11 時 00 分 会場：オンライン（Zoom）
本協議会の本年度の実施事業について検討するとともに、コロナ禍における各館の取り組みについて協議した。
4. 総会 令和 3 年 3 月 9 日 13 時 00 分～13 時 40 分 会場：オンライン（Zoom）
令和 2 年度の活動及び決算について報告するとともに、令和 3 年度の事業計画及び予算案について審議した。

群馬県高等学校教育研究会図書館部会

I 部会主催事業

1 会議等

- (1) 第1回本部役員会、新旧合同幹事会 4月15日(水)～4月24日(金) 書面審査
- (2) 第1回地区幹事会、第1回司書幹事会 10月7日(水) 前橋西高等学校
- (3) 第1回司書研修委員会 12月1日(火) 前橋西高等学校
- (4) 第2回本部役員会 12月8日(火)～12月15日(火) 書面審査

2 大会、研修会等

- (1) 総会及び講演会 5月1日(金) 中止
- (2) 司書研修会 分科会ごと主にリモートによる研修を実施
- (3) 冬季研究大会 1月29日(金) 中止(作品の返却および賞状の授受のみを行う)

3 各種事業

- (1) 第66回青少年読書感想文全国コンクール群馬県内審査
作品提出締切日 9月23日(水) 参加校 51校 9,395編応募
最終審査日 11月6日(金) 前橋西高等学校
最優秀賞 2編(自由読書の部1編、課題読書の部1編)は中央審査会へ出品
- (2) 第32回読書感想画中央コンクール群馬県内審査
作品提出締切日 1月12日(火) 参加校 19校 258点応募
最終審査日 1月14日(木) 前橋西高等学校
優秀賞 4点(自由読書の部2点、指定読書の部2点)は中央審査会へ出品
学校賞 4校(県立太田フレックス高校 県立渋川青翠高校
県立前橋東高校 前橋市立前橋高校)
- (3) 部会誌『紀要』令和2年度・第56号発行
3月31日(水)

II 対外的行事・事業

1 会議等

- (1) 群馬県図書館協会相互貸借担当者会議 中止
- (2) 全国学校図書館協議会総会 7月31日(金) 学校図書館センター
- (3) 群馬県図書館協会第1回運営委員会及び第18回群馬県図書館大会
第1回分科会検討会 7月9日(木) 県立図書館
- (4) 第18回群馬県図書館大会第2回分科会検討会 8月4日(火) 県立図書館
- (5) 全国学校図書館協議会
各県SLA事務局長会議 中止
青少年読書感想文全国コンクール表彰式 中止

2 大会、研修会等

- (1) 群馬県図書館協会図書館(室)職員等初級研修会 7月30日(木) 県立図書館

(2) 第42回全国学校図書館研究大会高松大会	中止	
(3) 全国高等学校ビブリオバトル2020群馬県大会	11月7日(土)	県立図書館
(4) 全国高等学校ビブリオバトル2020	中止	
(5) 群馬県図書館協会学校図書館研修会	11月19日(木)	県立図書館
(6) 群馬県図書館協会第18回群馬県図書館大会	11月26日(木)	県立図書館
(7) 群馬県図書館協会図書館(室)職員実務研修会	12月18日(金)	県立図書館

Ⅲ 各種事業

- (1) 群馬県図書館協会資料相互貸借

令和2年度 群馬県小中学校教育研究会学校図書館部会

1 総会

令和2年5月 書面開催（コロナ禍のため）

2 研究員会

第1回 令和2年6月 書面開催（コロナ禍のため）

研究主題「能動的・協働的な学びを支える学校図書館」

第2回 令和3年1月8日（金）

研究員から事務局に原稿をPDF形式でメールにて提出

作成した研究実践集録は、研究員にメールにて配信

3 第42回全国学校図書館研究大会（香川大会）

令和2年8月5日（水）～7日（金） コロナ禍により中止

『学校図書館7・8月号』で紙上発表

4 群馬県学校図書館研究協議会 沼田大会

令和2年8月18日（火） コロナ禍により中止

発表者 薄根中・兵藤泰明 教諭、多那中・大島 崇 教諭

※発表データを県教育研究会HPに掲載

5 第66回青少年読書感想文全国コンクール群馬県審査会

第1回 令和2年10月16日（金）

各支部から代表作品を事務局にPDF形式でメールにて提出、集約し審査員に送付

第2回 令和2年11月4日（水）藤岡市総合学習センター

※小学校（低・中・高）、中学校の各校種で自由読書・課題読書の各部より各1点、計8点を県代表作品として、全国学校図書館協議会へ送付

※全国での入賞はなし

6 第32回読書感想画中央コンクール群馬県審査会

令和3年1月19日（火）藤岡市総合学習センター

※小学校（低・高）、中学校の各校種で自由読書・指定読書の各部より各2点、

計12点を県代表作品として、中央審査会へ送付

※全国入賞者

小学校低学年の部 優良賞 田中 晴 渋川市立渋川北小学校 1年

小学校高学年の部 優良賞 鈴木 董 渋川市立橘小学校 5年

7 「群馬県学校図書館61」発行

令和3年3月発行（群馬県小中学校教育研究会Webページ掲載予定）

8 学校図書館司書部会の事業について

・令和3年2月24日（水）総会 書面開催（コロナ禍のため）

・研修会 コロナ禍により中止

令和2年度 読書感想画コンクール群馬県最優秀作品

小学校低学年【自由読書の部】



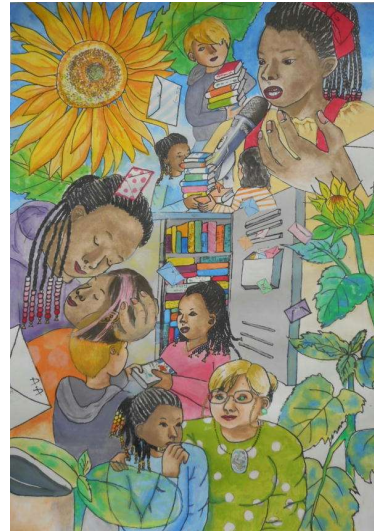
【指定読書の部】



小学校高学年【自由読書の部】



【指定読書の部】



中学校 【自由読書の部】



【指定読書の部】



令和2年度
群馬県図書館協会会報
NO. 15 (令3. 3. 31)

編集：発行 群馬県図書館協会

事務局 前橋市日吉町1-9-1
群馬県立図書館内

TEL 027(231)3336
FAX 027(235)4196